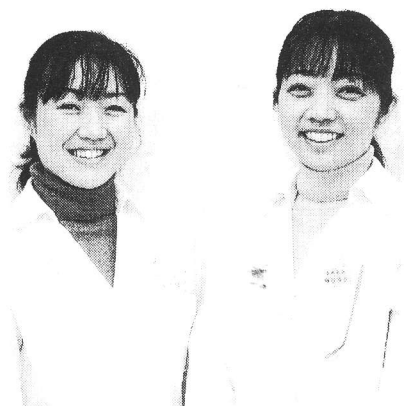


こんにちは ⑪



右から野田先生、原田先生

秦野市・野田麻衣先生^歯

秦野市の閑静な住宅街で歯科医院を開業する野田麻衣先生を訪ねた。姉の原田豊巳先生と二人で診療に当たる。

「秦野市の閑静な住宅街で歯科医院を開業する野田麻衣先生を訪ねた。姉の原田豊巳先生と二人で診療に当たる。」

「長らく閉じていた診療所の居抜き物件で開業。当初は閉院していると誤解していた住民も多く「閑古鳥が鳴いていました」。しかし次第に口コミで患者が増えていく。

「他院で良いと感じた点は積極的に取り入れる。幅広い世代の人々と接せられるのも開業して良かった点。『長い期間、家族で来ていただけのような歯科医院にしたい』」

「患者の多くは女性。『女性はお話を聞いてもらいたい』と思う方が多く、丁寧に扱われることを望まれています。スタッフも自らも、自分がされて嫌なことは決してしないようにと心がけ、患者の話に丁寧に耳を傾ける。『歯科はエステティックな要素を求められることも多い』。了承をとり、意思疎通のもと治療に当たる。最近ほろりイトニングなども導入。『美容院に行くような楽しい感覚で気軽に来てもらえたら』」

姉妹で支え合う

「一度で痛みが取れないなど、女の先生だから治らないのでは」と思われることもあります。対応困難な患者が来院し、困窮したこともあった。反面、これまでこんなに気を遣ってもらえたことはなかった」と喜ばれることも。「もっと早くここにかけられた、と言ってくれたら、二人で丁寧にやっていたのは間違っていないか」と感じます」

「内科医の父、薬剤師の母を持ち、これからは女性も働いていく時代であると若い頃から感じていた。休日は一週間分の家事に追われるが、その合間をぬって家族と共に過ごせる時間を大切にしている。『子どもが産まれてしまうと、仕事を続けるのが難しい環境の方も多く取った資格。細々とでもいいから長く続けていけば将来に繋がっていくのではないだろうか』」

《プロフィール》
研修医・勤務医の後、2004年に「さくら歯科クリニック」を開業。

「大変ですが、ストレスはたまりません」と朗らかに話すが、ペースで日々心地よく仕事をこなす先生方の診療所は、緩やかな空気が流れる。友人や家族を連れて来院する患者も多い。(A)